

# 大学が消える時代！？ 慎重な 進路選択 を



高校生にとって「大学受験」は、人生で最後の進路選択。そして、大学選びは未来を切り開く“最初で最後の分岐点”です。大学で過ごす4年間は、社会に出てからの進路・価値観・人脈に大きく影響します。だからこそ、「どこに行くか」「何を学ぶか」を考え、後悔のない選択をすることが大切です。一方で、大学進学には時間も費用もかかる大きな投資。「なんとなく」で進学してしまえば、中退や進路変更といった大きなロスにつながることもあります。

その失敗を防ぐ鍵は——今から正しい努力を始めること。

志望大学を意識し、早い段階で学習の土台を築けば、選択肢は大きく広がります。

では、なぜ「早期学習」がそれほど大切なのでしょうか。その理由は、次の3つにあります。

## 01 大学の二極化 - 人気大学の難化 -

文部科学省の調査によると、2024年度の大学入学者数は募集定員を1万人以上下回り、定員充足率はわずか98%。記録が残る2010年度以降、初めて100%を切りました。少子化による18歳人口の減少が主な要因で、大学全入時代が現実となりつつあります。



大学の入学定員は約63.6万人、受験生数は64.7万人と、その差はわずか1.1万人程度。今後さらに受験生数は減少し、2035年には入学定員が受験生数を上回ると予測されています。

この流れは今後さらに加速し、地方だけでなく関西の大学でも再編・統合・閉校が進む見込みです。

武庫川女子	2027年度から共学化	京都ノートルダム女子大学	2026年度から学生募集停止
-------	-------------	--------------	----------------

結果として、「今後発展していく大学」と「今後淘汰されていく大学」に二極化されていくと考えられます。

今後発展していく大学は

- ◆ 地方公立大学を除く国公立大学
- ◆ 関関同立近などの有名私立大学
- ◆ 医療・看護・薬学など専門性の高い大学・学部

などであり、当然受験生が集中し、以前は「頑張れば手が届く」大学が、今では「早期に特別な対策をしないと合格できない」大学になっています。

## 02 将来にも影響する「最終学歴」

就職活動では、レベルの高い大学ほど企業からの信頼が厚いという現実があります。

いわゆる“学歴フィルター”を突破できるかどうかかも、大学名で左右されます。

さらに、将来の転職や再就職では「最終学歴」を履歴書に記載します。

もしその大学が統廃合で名前がなくなっていたら？

“母校が存在しない”というケースは、もはや他人事ではありません。

だからこそ、「残る大学」に入ることが将来の安心につながるのであります。

## 03 大学進学は「高い買い物」

大学進学は、人生で最も大きな投資のひとつです。

大学の種類	4年間の学費
国公立大学	約250万円
私立大学	約400～600万円
医歯薬系大学	約2,000万円以上

さらに、大学生の約半数が奨学金を利用しておらず、卒業後に長期返済を抱える人も少なくありません。

だからこそ、「とりあえず進学」ではなく、目的を持って選ぶことが大切です。

そのためにも、早い段階から学力と志望意識を高める準備が必要です。

高学館 YouTube チャンネルにて  
詳しく解説しました！



その「まだ大丈夫」が合否をわかる！ 今すぐ受験勉強を始めよう！

